

ボバース記念病院 出前授業（大阪科学技術館）

7月17日（金）大阪科学技術センターの職員の方に「極低温の世界」というテーマで授業をしていただきました。バナナやゴムボール、風船、シャープペンシルの芯など、身近な物を使った実験を見せていただき、児童は終始わくわくした表情でした。



ゴムボールで机をたたいた時の音が、液体窒素に入れる前後で変化する様子や、液体窒素に入れた後のゴムボールを金槌でたたくと粉々になる様子を興味深く見ていました。

また、粉々になったゴムボールを手で温めると、すぐに柔らかい元のゴムに戻る様子に「なんで!？」と驚きの声が上がっていました。

シャープペンシルの芯に電気を通して光ったものを液体窒素の中に入れると、電球のように光る様子を見せていただきました。子どもたちからは、「眩しい!」「きれい!」などの感想が飛び交っていました。



最後に一人一個ずつ紙コップと風船を使った空気砲を作りました。完成した空気砲を使っ的を倒す活動も楽しむことができました。



大阪科学技術センターの職員のみなさま、楽しい授業をありがとうございました！